

IPPF「活動理念憲章」日本語訳

<p>P1 活動理念の憲章 IPPF 2025年総会</p>
<p>P3 尊厳を擁護する IPPFは、すべての人びとが生まれながらに尊厳を持ち、個人として尊重されるべきものと考えます。すべての人びとに対するあらゆる人権の普遍的な尊重が、私たちの礎となる理念です。身体の自己決定権をはじめとするセクシュアル・リプロダクティブ・ライツ（性と生殖に関する権利）の完全な実現は、多様な性とジェンダーの人びとを含む私たち一人ひとりの尊厳が現実のものとなるための前提条件です。そのため、IPPFは活動のあらゆる局面で人権を擁護することにコミットします。さらに、世界中のすべての人びとが安全な中絶の権利を持てるよう、そして暴力、脅威、差別、恐怖、強制から解放され、自由に生き、愛する権利が実現されることにも取り組みます。</p>
<p>P5 平等を促進する IPPFは、すべての人が力を発揮し、繁栄できる世界を信じています。その上で人道危機下を含め、常に女性、女兒、移民・難民や周縁化されたコミュニティのセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利：SRHR）を擁護します。さらに、信頼のおける証拠に基づき、フェミニスト的で、反人種差別的、反障害者差別的、そして交差性を考慮した取り組みを行うことを約束します。また、個人の置かれた状況や環境、アイデンティティーにかかわらず、すべての人びとがSRHRを尊重され、享受できる社会を目指します。</p>
<p>P7 すべての人びとのジャスティスを求める セクシュアル・リプロダクティブ・ジャスティス（性と生殖に関する正義）は必要不可欠でありながら、多くの人にとって実現されていません。これは、法の下ですべての人びとに公正かつ平等な扱いを求めるだけでなく、植民地主義や帝国主義とその遺産、そしてそれが今なお息づく事象を、公正な賠償を通じることを含めて、克服しなければならないことを意味します。私たちは、不平等には歴史的・構造的に根深い要因があることを認識した上で、多くの人びとの前に立ちはだかるケアと尊厳への障壁を糾弾します。そして、置かれた状況や環境、アイデンティティーに関係なく、すべての人びとがSRHRにアクセスでき、享受できるよう、ジャスティスを求める他の社会運動にも合流することを約束します。</p>
<p>P9 プレジャーを称える IPPFは、「人権」とはその法的理念にとどまらず、人生の喜びや楽しみを享受するためのものとも考えます。セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）の実現とは、病気や外傷のない状態だけではなく、セクシュアル・インティマシー（性的な親密さ）の</p>

場面をも含む、喜びや楽しみ、ポジティブなウェルビーイング（健康に安心して暮らせること）の状態でもあります。さらに、性自認や性的指向に関わらず、すべての人びとには充足した性生活を享受する権利があり、それは自由意志に基づく同意やプライバシーへの配慮を前提とし、率直なコミュニケーションに支えられるものだと確信します。

P11

グローバルでローカルなコミュニティを構築する

IPPF の活動理念は「地域主導でグローバルにつながる」ことです。結束力と多様性が私たちの最大の強みです。何よりも支援を求め、それを受け取る人びとこそが、連盟を力づけます。私たちは、特に若者、ボランティア、現場の最前線に立つ SRHR 擁護者たちの主導的役割を称えます。また、世界中のあらゆる地域で誰もが受け入れられ、尊重される包摂的なコミュニティの育成にコミットします。もちろん IPPF がすべての解決策を持ち合わせているわけではありません。そのため、連盟内で、また外部との間に橋をかけ、対話を育み、内外でパートナーシップを構築し、IPPF が求める変化を促進します。

P13

誠実に行動する

IPPF に信頼を寄せてくださる方々に、責任を持って誠実に応えることが何より大切だと私たちは考えます。これは、ドナーや監査機関はもとより、職員、ボランティア、とりわけ共に活動する人びとやコミュニティに対して、私たちが説明責任を果たすことを意味します。財務・データ管理を始めとする日々の業務での誠実な対応が、IPPF の持続可能性の鍵であることを確信しています。

P15

レジリエンス（回復力）を育む

世界に変革を起こすなかで、提唱する人権基準の達成と、協働するコミュニティにおける成果を増大するため、IPPF は変化に合わせて適応し、成長し続けます。私たちは現在や過去の失敗や過ちに誠実に、透明性を持って向き合います。これには、植民地主義や帝国主義の名残、人種差別、性差別、トランス嫌悪、同性愛嫌悪、障害者差別、年齢差別だけにとどまらず、あらゆる形態の差別や排斥の問題が含まれます。職員、ボランティア、パートナー団体、専門家はもちろんのこと、農村部や僻地、サービスが十分行き渡らないコミュニティで SRHR の不平等や排除に直面している人びととの間で、知識と経験を共有し合います。リスクに賢く向き合いながら、戦略的に改革を進めます。逆境に直面しても粘り強く対応します。

国際家族計画連盟（IPPF）